

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目次	株主の皆様へ……………	1
	トピックス……………	2
	完成工事ハイライト……………	4
	第2 四半期連結決算のご報告 ……………	5
	経営成績、事業別の営業の成果、損益の状況、財務の状況	
	連結貸借対照表要旨	
	連結損益計算書要旨、(参考) 個別損益計算書要旨	
	連結キャッシュ・フロー計算書要旨	
	会社の概況 ……………	8
	商号、沿革、設立、営業種目	
	資本金、株式の状況	
	大株主の状況、株価の推移	
	取締役および監査役、執行役員	
	事業所	

株主の皆様へ



代表取締役社長
水島 和紀

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第110期（平成22年4月1日から平成23年3月31日）も第2四半期を終了いたしましたので、連結および単体決算を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、新興国向けの輸出増加などを背景に、企業収益は緩やかに改善しつつあるものの、急速な円高の進行や株価の低迷、失業率の高止まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、民間設備投資に持ち直しの傾向がみられたものの、公共投資が関連予算の大幅な削減により低調に推移するなど、依然として厳しい経営環境に直面しております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」という）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売の強化に努めてまいりましたが、当第2四半期の売上高は1,441億23百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。利益につきましては、受注競争が激化するなか、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりましたが、売上高が減少したことおよび原材料価格が上昇したことなどにより、営業利益19億98百万円（前年同四半期比45.9%減）、経常利益19億93百万円（前年同四半期比48.0%減）、四半期純利益2億8百万円（前年同四半期比88.5%減）となりました。

第3四半期以降の経営環境につきましては、海外経済の改善などを背景に景気が持ち直していくことが期待されますが、一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気がさらに下押しされるリスクが存在することに留意する必要があります。

建設業界におきましては、民間設備投資の持ち直し傾向が続くものの、公共投資が低調に推移する等、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境にあっても、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団としての真価を発揮して、技術力の向上、営業力の強化に努めるとともに、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の強化を進めるとともに、建築、開発、プラントエンジニアリング、土壌浄化等の分野の収益力向上と安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

株式会社 NIPPO

代表取締役社長 水島和紀

トピックス

「総合技術センター」を開設しました

技術部門を集約し「確かなものづくり」に挑戦し続けます

10月、75周年事業の一環として建設を進めていた「総合技術センター」をさいたま市に開設しました。分散していた技術研究所・技術開発部・生産技術機械部（一部）と、関東第一支店・関東第二支店の両試験所、技術系グループ会社が結集。総合技術センターは当社の技術の中核施設として、総勢約200名の陣容で新製品・新工法の研究開発を推し進めていきます。

また、建物は太陽光発電やヒートポンプの導入等で地球環境に配慮した他、高強度コンクリートや免震装置を採用。設計・施工両面に自社で関与した「建築部門」のPRとなるだけではなく、事業継続計画（BCP）の観点からも重要な拠点となっています。



総合技術センター 建物全景



大型単純せん断試験装置



屋外試験場での試験施工状況

スピードセーブ

速度抑制舗装

暴走行為の排除や生活道路の安全の確保に



直線道路での完成写真

「スピードセーブ」は、滑らかな正弦波形を連続して設けた路面です。この波状形状により、制限速度を超過した車両にのみ共振による揺れを生じさせ、運転者に不快感を与えることで速度抑制を促します。

波長や波高を変えることで、低速域から高速域までさまざまな道路に設定可能で、交通事故の防止や暴走行為の排除、騒音等の問題の低減などに効果を発揮します。

ISAP2010 名古屋大会でも高い評価

今年8月に開催された第11回国際アスファルト舗装会議（ISAP2010名古屋会議）で、世界各国から寄せられた約300編の論文の中から、「プレナリーセッション」とよばれる全体会議で発表する論文の一つに選ばれました。論文発表を聴いた海外からの参加者もスピードセーブに高い関心を寄せしており、NIPPOの技術力の高さを海外にもアピールしました。



発表風景

エコファイン

中温化アスファルト混合物 第 2 回建設技術開発賞受賞

CO₂ 排出抑制と寒冷期施工の品質を確保

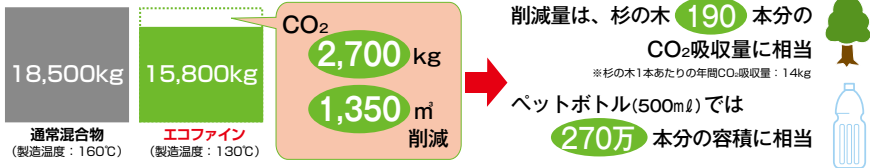
「エコファイン」は、発泡系の特殊添加剤「フォームセット」を用いることで、通常より製造温度を約 30℃ 低下させることができるアスファルト混合物です。

混合物製造時の燃料消費量を低減することで、省エネルギーでかつ CO₂ 排出量を約 15% 削減し地球温暖化防止に貢献することに加え、品質の確保、交通開放までの時間短縮、沿道環境の改善、舗設許容時間や運搬可能距離の伸長などにも効果があります。



香川県丸亀市綾香町の舗装工事現場で開催された見学会の様子

合材製造 1,000 トンあたりの CO₂ 排出量



テフィックス

防塵固化材

周辺環境保全・作業環境改善

「テフィックス」は、テフロン®の発塵防止技術から開発された、乾燥タイプの防塵型土質安定材です。安定材が飛散しないため、あらゆる環境において、安心して使用できます。

特長

- 防塵性** 通常の作業ではほとんど発塵しません。
- 安定性** 人体への影響や土壌・地下水への汚染の心配がありません。
- 作業性** 作業性は従来の土質安定材と全く変わりません。



テフィックスの顕微鏡写真
 サブミクロン径のテフロン® 繊維が土質安定材粒子を捕らえ、発塵を防止します



テフィックスは散布中やスタビライザ走行中でもほとんど発塵しません



完成工事ハイライト

- 東日本高速道路株式会社
関東支社
東関東自動車道
茨城舗装工事
【茨城県】



- 高松市
高松競輪場走路改修工事
【香川県】

- JX日鉱日石エネルギー株式会社
HS-FCCオフサイト
パイプラック・エアドライヤー基礎工事
【岡山県】

